

<令和7年度 研究テーマ>

# みんなで創る授業

～ 子ども理解を土台とした授業改善 ～

## 研究スタイル

### みんなでわくわく～授業実践～

子どもの実態をおさえて

アセスメント評価やICFの考え方をいかし、  
発達の視点を持ち子どもを理解する。

#### 授業実践

【実態—目標（指導内容・方法）  
—子どもの姿から振り返り】

- ◎授業検討チームによる授業検討会
- 学部ごとテーマを決めて授業改善
- ◎授業公開による授業改善

\*授業相談、参観コーディネーター

#### ICT活用による 学びの拡充

【子どものニーズに応じて】

- ・ICT活用実践
- ・ICT活用の工夫シート
- \*ICTサポーター

#### 教材教具・指導法の工夫

【考え→つくる→使う→考える】

- ・教材教具・指導法の  
工夫シート
- \*高根教材支援研究室

<実践と理論の往還> つくる・つたえる・つなぐ <協働的な学び>

### みんなが深まる・広がる

～研修・自己研鑽～

- ◎授業力向上や子ども理解等に  
関わる研修を行う
  - ・授業改善研修会
  - ・夏の公開研修会
  - ・さがちゅうゼミ（自主研修会）等
- ◎自己研鑽を支える環境の充実
  - ・NISE 学びラボ（講義配信）視聴
  - ・過去研修会 DVD の閲覧
  - ・ポスター等掲示物による情報共有

### みんなをつなぐ

～中央支援スタンダード～

- ◎指導のつながりを意識し、  
共通理解して取り組む
  - ・統一シンボル
  - ・統一サイン
  - ・フロントゼロ
  - ・教室内の環境整理
  - ・右側通行
  - ・手順書
  - ・水泳学習進度表
  - ・UDフォントの積極的使用

